

公益社団法人愛知県医師会 第16回(定例)理事会議事録

開催日時：平成26年8月28日(木) 午後2時30分～午後4時25分

開催場所：愛知県医師会館4階理事会議室

出席者

会長(代表理事)／柵木 充 明

副会長(代表理事)／山本 楯 伊藤 宣 夫 横井 隆

理事／市川 朝 洋 吉田 貴 伊藤 健 一 城 義 政 加藤 雅 通

大輪 芳 裕 西山 朗 榎尾 富 二 樋口 俊 寛 伊藤 富 士 子

瀬瀬 雅 明 細川 秀 一 森 孝 生 城 卓 志 野田 正 治

監事／岩瀬 敬 紀 可世木 成 明 榊原 一 基

代議員会議長／水野 和 夫

代議員会副議長／川上 雅 正 杉田 洋 一

議事録作成者 横地 宏 和

※城(義)理事、加藤理事、大輪理事、細川理事遅刻のため、承認事項1～4、承認事項10～13については、21名(うち理事15名)、承認事項14～16については、22名(うち理事16名)、協議事項17については23名(うち理事17名)で審議した。

承認事項5～9については、承認事項16の後に審議した。

議長は、定款第39条第2項により、柵木充明会長(代表理事)が務める。

本日の理事会は、出席者25名(うち理事19名)で、理事現在数19名の2分の1以上(10名)の出席があり、定款第39条第6項の決議を行うに必要な過半数に達していることを確認した。

議事進行に先立ち、柵木会長より挨拶。

議 事

一承認事項一

1. 庶務関係事項について

(1) 後援並びに共催について

①愛知医科大学医師会(会長 野浪敏明)主催の愛知医科大学医師会・愛知医科大学医学部附属産業保健科学センター産業医研修会〔10/11(土)〕の共催について

市川理事より説明があり、承認された。

②愛知県学校保健会(会長 伊藤宣夫)主催の第62回愛知県学校保健研究大会〔10/15(水)〕の後援について

市川理事より説明があり、承認された。

- ③愛知産業保健総合支援センター主催の日医認定産業医研修会の共催について
市川理事より説明があり、承認された。
- ④公益財団法人 鈴木謙三記念医科学応用研究財団(理事長 別所芳樹)主催の第66回学術講演会〔11/27(木)〕の後援について
市川理事より説明があり、承認された。
- ⑤「第18回国際福祉健康産業展～ウェルフェア2015～」(名古屋国際見本市委員会 会長(名古屋市長)河村たかし)〔H27.5/21(木)～5/23(土)〕の協賛について
市川理事より説明があり、承認された。
- (2)愛知県がんセンター中央病院(院長 篠田雅幸)主催の緩和ケアフォローアップ研修会〔10/13日(月・祝)〕の後援について
市川理事より説明があり、承認された。
- (3)公益財団法人 日本リウマチ財団(代表理事 高久史麿)主催の平成26年度 東海・北陸地区 リウマチ教育研修会〔12/7(日)〕の後援並びに会長挨拶依頼について
市川理事より説明があり、標記研修会への後援及び柵木会長の挨拶が承認された。(挨拶は細川理事代読)
- (4)一般社団法人 名古屋市医師会(会長 杉田洋一)主催の平成26年度 第3回名古屋市かかりつけ医等心の健康対応力向上研修【うつ病(医師対象)】〔12/13(土)〕の共催並びに日医認定産業医制度における指定承認について
市川理事より説明があり、承認された。
2. 平成26年度公衆衛生事業功労者に対する厚生労働大臣表彰候補者の推薦について
市川理事より説明があり、中村俊郎先生(名古屋市)、小出義信先生(岡崎市)、星山道夫先生(豊田加茂)、生田克夫先生(愛知県産婦人科医会)を候補者として年齢順に推薦することが承認された。
3. 9階大講堂舞台照明設備のLEDへの変更について
市川理事より説明があり、9階大講堂の舞台照明設備変更の工事を(株)CBCビップスへ依頼することが承認された。
4. 愛知県医師会地域医療政策研究機構設置要綱(案)について
伊藤(健)理事より説明があり、標記設置要綱が承認された。
5. 災害時優先携帯電話の機種変更について
城(義)理事より説明があり、現在所有している災害時優先携帯電話49台(本会13台、地区医師会36台)の機種変更が承認された。

6. 平成 26 年度第 3 回小児救急連携体制協議会〔9/12(金)〕開催について
(愛知県医師会主催：802 会議室)
城(義)理事より説明があり、標記協議会の開催が承認された。
7. 平成 26 年度中部国際空港消火救難・救急医療総合訓練〔10/2(木)〕について
(中部国際空港緊急計画連絡協議会主催：空港島東側海域及びりんくう埠頭)
城(義)理事より説明があり、半田市・東海市・知多郡医師会へ医療救護班 2 班の派遣及び半田市医師会へ検視・検案訓練参加者の推薦依頼をすることが事後承認された。
8. 平成 26 年度労災疾病臨床研究事業費への研究協力者受諾について
城(義)理事より説明があり、名古屋大学大学院医学系研究科手の外科学平田仁教授より依頼された、厚生労働省の平成 26 年度労災疾病臨床研究事業費補助金公募に伴う研究協力者として、ご自身の参加が承認された。
9. 医療秘書学院業務委託に関する協定書・運営委員会規程について
横井副会長より説明があり、あいちビジネス専門学校との業務委託に関する協定書の締結及び運営委員会規程が承認された。
10. 愛知県国民健康保険団体連合会による介護電子媒体化ソフト(簡略版)について
樋口理事より、国保連合会が「居宅療養管理指導」、「介護予防居宅療養管理指導」のみを紙帳票で請求している医療機関を対象とした、簡略版の介護電子媒体化ソフトが国保連合会のホームページに掲載される予定であると説明され、本会として掲載の了承をすることが承認された。
11. 地域医療再生に関する多職種連携協議会〔9/22(月)〕開催について
(愛知県医師会主催：801 会議室)
樋口理事より説明があり、標記協議会の開催が承認された。
12. 母体保護法指定医師の取り消しについて
伊藤(富)理事より経緯の説明があり、標記の件について、平成 26 年 8 月 28 日より 1 年間の資格取り消し、該当機関のホームページから該当項目の削除、取り消し期間後の再申請は妨げないということが承認された。
可世木監事より、本件について補足説明をされた。
13. 医学生、研修医等をサポートするための会〔11/4(火)〕開催について
(愛知県医師会主催：名古屋市立大学)
伊藤(富)理事より説明があり、標記の会の開催が承認された。

14. 愛知県が実施する「慢性閉塞性肺疾患 (COPD) 医療連携等実施状況 実態調査」への協力について

森理事より、前回の理事会で継続審議となった愛知医報への同梱について、市川理事が愛知県担当者と協議したが、今回は調査の回収期限も迫っていることから愛知医報へ同梱し送付することとし、今後については、愛知県と検討していくこととしたいと説明され、承認された。

市川理事より、今後の愛知県との協議は事務局長へ一任してあるので、一定の方向性が出たら理事会へ上程すると発言された。

15. 平成26年度認知症サポート医養成研修の受講者推薦について

野田理事より説明があり、標記研修の推薦者及び6名の受講料等については本会負担とすることが承認された。

16. 各種委員会・部会について

A) 調査室委員会休会及び今後の開催日程について

伊藤（健）理事より、9月10日（水）の調査室委員会の休会及び10月からの開催日程を毎月第1・第3・第5火曜日にすることが承認された。

—協議事項—

17. 平成27年度補助金・委託金の要望について

柵木会長より説明され、愛知県へ提出する平成27年度補助金・委託金の要望が承認された。

各担当役員より、該当する補助金・委託金事業について説明された。

18. その他

—報告事項—

1. 愛知県医療審議会〔8/20(水)〕について

(愛知県主催：愛知県東大手庁舎)

柵木会長より、会長には、慣例により名古屋大学医学部長が選出され、新たな財政支援制度について規模が小さいという発言をし、規模を積み上げることになった。また、あいち健康福祉ビジョン年次レポート(平成26年度版)素案について承認されたと報告された。

2. 東海北陸地方社会保険医療協議会愛知部会〔8/25(月)〕について

(東海北陸厚生局主催：東海北陸厚生局)

柵木会長より、新規機関について資料に基づき説明された。

3. 平成26年度第2回愛知県医療審議会医療法人許認可部会〔8/22(金)〕について

(愛知県主催：愛知県西庁舎)

伊藤副会長より、会議名称が変更されてから第1回目の会議。会議では継続審議であった医療法人の設立について、新規の医療法人の設立について、医療法人の合併について協議されたと報告され、また、医療法人異動状況について、休眠法人について資料に基づき説明された。

4. 平成26年度第2回小児救急連携体制協議会〔7/29(火)〕について

(愛知県医師会主催：501会議室)

城(義)理事より、医師向け、母親向け等の研修会・講演会の実施方法等について議論を行った。また、小児科を標榜する2次病院へのアンケートを用い、救急での死亡例等の実態調査関連について、各担当者を決め検討することにしたと報告された。

5. 愛知県医師会無線システム災害想定訓練〔8/5(火)〕について

(愛知県医師会主催：救急医療情報センター)

城(義)理事より、岐阜県本巣市根尾谷を震源とするマグニチュード7.2の地震が発生したとの想定で、訓練を実施した。医師会14機関、災害拠点病院10機関、基幹病院8機関の合計32機関が訓練に参加し、無線交信、広域災害システムへの入力訓練、また、メール・FAXでの情報収集訓練も併せて行った。電波が不安定な機関が1機関あったものの、概ね滞りなく終了することができたと報告された。

6. 平成26年度県営名古屋空港消火救難総合訓練「救急医療部会」〔8/6(水)〕について

(愛知県地域振興部主催：県営名古屋空港事務所)

城(義)理事より、9月18日(木)に開催される訓練の各担当の役割を確認した。メディカルコマンダーは小牧市民病院井上センター長が指揮、模擬患者の状態は、手に握った情報用紙にて診断、また本当に気分が悪くなったときには、「本当に」と言うように確認があったと報告された。

7. 中部国際空港緊急計画連絡協議会「図上訓練」〔8/7(木)〕について
(中部国際空港緊急計画連絡協議会主催・中部国際空港)
城(義)理事より、10月2日(木)の実働訓練に向け、エマルゴトレーニングシステムを用いて、図上訓練を行ったと報告された。
8. 救急医療情報センターにおける平成26年度お盆期間〔8/12(火)～17(日)〕の業務概況について
城(義)理事より、今年度のお盆期間6日間の総受信件数は6,765件であった。昨年度と比較すると約1,000件の減少であるが、これは昨年度よりもお盆期間が一日少ないためである。一日の平均受信件数は、昨年度よりも20件増加し1,128件であった。また、案内した医療機関の科目割合もほぼ同じであったと報告された。
9. 平成26年度第4回愛知県救急業務高度化推進協議会作業部会〔8/18(月)〕について
て
(愛知県救急業務高度化推進協議会主催：三の丸庁舎)
城(義)理事より、救急救命士の処置範囲拡大事業の実施に向けて、運用体制、教育体制、検証体制の3本柱について、MC協議会提出議題の最終検討を行なった。運用体制については、主に心原性ショックが疑われる患者には、輸液を行なわないことが確認されたと報告された。
10. 愛知県国民保護協議会幹事会〔8/18(月)〕について
(愛知県国民保護協議会(愛知県)主催：三の丸庁舎)
城(義)理事より、平成18年2月に制定された愛知県国民保護計画の一部改訂について検討した。地域特性等に応じて、考慮すべき住民避難上の措置の追加、警報等の情報伝達手段としてEm-Net、J-ALERTの追加、救援事務が厚生労働省から内閣府へ移管されたと報告された。
11. 愛知県国民保護協議会〔8/20(水)〕について
(愛知県国民保護協議会(愛知県)主催：三の丸庁舎)
城(義)理事より、柵木会長の代理として出席し、8月18日(月)に開催された幹事会で検討された事項が協議会にて承認された。その後、「内閣参事官 加藤主税氏による国民保護の動向」の講演があり、国民保護共同訓練により、普及啓発、ノウハウが蓄積され、関係機関相互に「顔の見える関係」が構築されたと報告された。
12. 精神科救急医療システム協議会〔8/21(木)〕について
(愛知県主催：自治センター)
城(義)理事より、平成25年7月より後方支援機関病院が設置され、尾張A・尾張B・三河の3ブロックに3病院を設け、その後方に城山病院を最終支援病院とした。平成26年6月までに27件あり、18件が受入、9件が受入困難であった。ま

た、精神・身体合併症連携推進事業についての説明及び、DPAT（災害派遣精神医療チーム）体制を調整中であると報告された。

1 3. 平成 26 年度第 1 回医療秘書認定試験委員会〔8/20(水)〕について

(日本医師会主催：日本医師会館)

横井副会長より、加藤理事が出席し、第 35 回日本医師会医療秘書認定試験試験科目の委員分担について、平成 26 年度日本医師会医療秘書認定試験委員会年間スケジュールについて審議されたと報告された。

1 4. 尾張北部地域産業保健センター運営協議会〔8/20(水)〕について

(尾張北部地域産業保健センター主催：尾北医師会館)

西山理事より、平成 25 年度事業実績は平成 24 年度相談実績とほぼ同じであり、平成 26 年度事業計画は平成 25 年度と同じである。また、その他事項にて、3 事業一本化によって、1 事業所年 2 回までの相談となったことへの戸惑いがあるという意見があったと報告された。

柵木会長より、1 事業所年 2 回までの相談とは具体的にどのようなことか質問され、山本副会長、西山理事より説明をされたが、柵木会長より、再度確認をするようお二方へ依頼された。

1 5. 産業医研修会〔8/22(金)〕について

(愛知県医師会主催：9階大講堂)

西山理事より、147 名の出席があったと報告された。

1 6. 愛知県広域予防接種事業調整会議〔8/25(月)〕について

(愛知県主催：8 階 802～804 会議室)

瀨瀨理事より、県内市町村の予防接種担当者が出席し、本事業の実施状況及び調整事項の検討結果、対象予防接種の追加に関することについて説明がなされたと報告された。

柵木会長より、予防接種の広域化により接種件数は増加しているか質問され、瀨瀨理事より、増加していると回答された。

野田理事より、保健師との話し合いの場で、予防接種広域化については評価されていたが、次の段階として他県を含めた広域化をして欲しいとの要望があったと発言された。

1 7. 各種委員会・部会について

A) 母体保護法指定医師審査(小)委員会〔7/30(水)〕について

(801 会議室)

B) 母体保護法指定医師審査委員会(臨時)〔8/3(日)・8/23(土)〕について

(8/3(中日パレス)・8/23(801 会議室))

伊藤(富)理事より、報告事項 17-A、B について一括報告。小委員会、臨時委員

会ともに、承認事項 12 についての検討を行ったと報告された。

C) 救急委員会〔8/5(火)〕について

(7 階研修室)

城(義)理事より、定例開催日を毎月第 1 火曜日とする旨が決定し、野村委員が委員長に、上山、岩佐、北川、馬嶋委員が副委員長に選出された。報告事項では、7 月 29 日までに行われた関係会議等について報告がなされた。協議事項では、各種アンケートの分担の決定、AED (BLS) 講習会、ICLS 研修会の開催等について議論がなされたと報告され、また、愛知県医師会医療救護班員証、災害現場通行許可証を役員へ配付してあると発言された。

D) 地域医療介護委員会〔8/19(火)〕について

(5 階医師連盟会議室)

野田理事より、委員会の名称が変更となって初めての開催となった。委員長は大石明宣先生、副委員長は西村賢司先生にお願いする。国が主催の認知症サポート医養成研修において、受講申込者の中から 6 名の推薦候補者の選定を行ったと報告された。

18. その他

・集团的個別指導の実施について

樫尾理事より、標記の件について発言された。

以上で本日の議事を終了し、議長は協力を謝して閉会とした。

平成26年8月28日